

■セグメント情報

1. 報告セグメントの概要

当行グループの報告セグメントは、当行グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当行グループは、当行及び連結子会社3社で構成されており、銀行業務を中心に、リース業務、クレジットカード業務などの金融サービスに係る事業を行っております。

従いまして、金融業におけるサービス別のセグメントから構成されており、「銀行業」、「リース業」及び「クレジットカード業」の3つを報告セグメントとしております。

「銀行業」は、預金業務、貸出業務、有価証券投資業務、為替業務等を行っております。

「リース業」は、連結子会社のオーシャンリース株式会社において、リース業務等を行っております。

「クレジットカード業」は、株式会社高知カードにおいて、クレジットカード業務を行っております。

2. 報告セグメントごとの経常収益、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、経常利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は、第三者間取引価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの経常収益及び利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

(単位：百万円)

	平成22年度中間期						平成23年度中間期					
	報告セグメント				調整額	中間連結財務諸表計上額	報告セグメント				調整額	中間連結財務諸表計上額
	銀行業	リース業	クレジットカード業	計			銀行業	リース業	クレジットカード業	計		
経常収益												
外部顧客に対する経常収益	10,263	2,540	248	13,052	—	13,052	10,012	2,664	228	12,905	△ 23	12,882
セグメント間の内部経常収益	53	195	—	249	△ 249	—	40	87	—	128	△ 128	—
計	10,317	2,736	248	13,301	△ 249	13,052	10,053	2,751	228	13,034	△ 151	12,882
セグメント利益	1,882	177	43	2,104	15	2,119	1,347	198	39	1,585	△ 3	1,582
セグメント資産	937,110	9,225	2,524	948,859	△ 4,945	943,914	935,736	9,578	2,181	947,496	△ 4,153	943,343
セグメント負債	886,619	6,965	1,871	895,456	△ 4,887	890,569	886,200	7,109	1,456	894,766	△ 3,844	890,921
その他の項目												
減価償却費	434	42	0	477	110	588	433	40	0	474	12	486
資金運用収益	8,963	4	113	9,081	△ 42	9,039	8,592	2	83	8,679	△ 32	8,646
資金調達費用	1,225	59	11	1,295	△ 41	1,254	802	53	5	861	△ 31	830
特別利益	786	36	0	823	△ 9	813	—	—	—	—	—	—
(貸倒引当金戻入益)	783	36	—	819	△ 9	810	—	—	—	—	—	—
特別損失	342	0	—	343	10	353	110	0	0	110	1	112
(減損損失)	332	—	—	332	—	332	97	—	—	97	—	97
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	237	13	5	255	8	263	379	2	—	381	6	388

[平成22年度中間期]

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。

2. 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) セグメント利益の調整額15百万円は、セグメント間取引消去等によるものであります。
- (2) セグメント資産の調整額△4,945百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。
- (3) セグメント負債の調整額△4,887百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。
- (4) セグメント資金運用収益の調整額△42百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。
- (5) セグメント資金調達費用の調整額△41百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。
- (6) セグメント特別利益の調整額△9百万円は、セグメント間取引消去等によるものであります。
- (7) セグメント特別損失の調整額10百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

[平成23年度中間期]

(注) 1. 一般企業の売上高に代えて、それぞれ経常収益を記載しております。

2. 調整額は、以下のとおりであります。

- (1) 外部顧客に対する経常収益の調整額△23百万円は、「リース業」及び「クレジットカード業」の貸倒引当金戻入益であります。
- (2) セグメント利益の調整額△3百万円は、セグメント間取引消去等によるものであります。
- (3) セグメント資産の調整額△4,153百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。
- (4) セグメント負債の調整額△3,844百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。
- (5) 減価償却費の調整額12百万円は、グループ内のリース取引に伴い発生した減価償却費の調整額であります。
- (6) セグメント資金運用収益の調整額△32百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。
- (7) セグメント資金調達費用の調整額△31百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。
- (8) セグメント特別損失の調整額1百万円は、グループ内のリース取引における固定資産除去費用の増加額であります。
- (9) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額6百万円は、グループ内のリース取引における有形固定資産の増加額であります。

3. セグメント利益は、中間連結損益計算書の経常利益と調整を行っております。

■ 関連情報

1. 前中間連結会計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

(単位:百万円)

(1) サービスごとの情報

	貸出業務	有価証券投資業務	リース業務	その他	合計
外部顧客に対する経常収益	7,333	2,103	2,526	1,087	13,052

(注) 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

(2) 地域ごとの情報

① 経常収益

当行グループは、本邦の外部顧客に対する経常収益に区分した金額が中間連結損益計算書の経常収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

② 有形固定資産

当行グループは、本邦に所在している有形固定資産の金額が中間連結貸借対照表の有形固定資産金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

(3) 主要な顧客ごとの情報

特定の顧客に対する経常収益で中間連結損益計算書の経常収益の10%以上を占めるものがないため、記載を省略しております。

2. 当中間連結会計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

(単位:百万円)

(1) サービスごとの情報

	貸出業務	有価証券投資業務	リース業務	その他	合計
外部顧客に対する経常収益	6,849	2,318	2,637	1,077	12,882

(注) 一般企業の売上高に代えて、経常収益を記載しております。

(2) 地域ごとの情報

① 経常収益

当行グループは、本邦の外部顧客に対する経常収益に区分した金額が中間連結損益計算書の経常収益の90%を超えるため、記載を省略しております。

② 有形固定資産

当行グループは、本邦に所在している有形固定資産の金額が中間連結貸借対照表の有形固定資産金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

(3) 主要な顧客ごとの情報

特定の顧客に対する経常収益で中間連結損益計算書の経常収益の10%以上を占めるものがないため、記載を省略しております。

■ 報告セグメントごとの負ののれんの償却額及び未償却残高に関する情報

1. 前中間連結会計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			全社・消去	合計
	銀行業	リース業	クレジットカード業		
当中間期償却額	—	8	—	—	8
当中間期末残高	—	247	—	—	247

2. 当中間連結会計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント			全社・消去	合計
	銀行業	リース業	クレジットカード業		
当中間期償却額	—	8	—	—	8
当中間期末残高	—	230	—	—	230

■ 報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報

1. 前中間連結会計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)

該当事項はありません。

2. 当中間連結会計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

該当事項はありません。

## 業務粗利益（連結）

（単位：百万円）

	平成22年度中間期			平成23年度中間期		
	国内業務部門	国際業務部門	合計	国内業務部門	国際業務部門	合計
資金運用収支	7,581	205	7,787	7,497	319	7,816
うち資金運用収益	8,832	253	9,039	8,326	365	8,646
うち資金調達費用	1,250	47	1,252	829	45	829
役員取引等収支	107	7	114	124	14	139
うち役員取引等収益	915	10	925	898	17	915
うち役員取引等費用	807	3	811	773	2	776
その他業務収支	734	5	739	846	22	868
うちその他業務収益	2,988	5	2,994	3,215	22	3,237
うちその他業務費用	2,254	—	2,254	2,368	—	2,368

- （注） 1. 国内業務部門は当行及び国内子会社の円建取引、国際業務部門は当行及び国内子会社の外貨建取引であります。ただし、円建対非居住者取引は国際業務部門に含めております。  
 2. 連結会社間の取引に係る収益・費用につきましては、相殺消去のうえ記載しております。  
 3. 資金運用収益及び資金調達費用の合計欄の上段の計数は、国内業務部門と国際業務部門の間の資金貸借の利息であります。  
 4. 資金調達費用は、金銭の信託運用見合費用（平成22年度中間期1百万円、平成23年度中間期0百万円）を控除して表示しております。

## 役員取引の状況（連結）

（単位：百万円）

	平成22年度中間期			平成23年度中間期		
	国内業務部門	国際業務部門	合計	国内業務部門	国際業務部門	合計
役員取引等収益	915	10	925	898	17	915
うち預金・貸出業務	219	—	219	219	—	219
うち為替業務	340	10	350	324	16	341
うち証券関連業務	107	—	107	106	—	106
うち代理業務	19	—	19	18	—	18
うち保護預り・貸金庫業務	7	—	7	7	—	7
うち保証業務	7	0	7	5	0	6
役員取引等費用	807	3	811	773	2	776
うち為替業務	56	3	59	54	2	57

- （注） 1. 国内業務部門は当行及び国内子会社の円建取引、国際業務部門は当行及び国内子会社の外貨建取引であります。ただし、円建対非居住者取引は、国際業務部門に含めております。  
 2. 連結会社間の取引に係る収益・費用につきましては、相殺消去のうえ記載しております。

資金運用・調達勘定平均残高等（連結）

（単位：百万円、％）

■ 国内業務部門

	平成22年度中間期			平成23年度中間期		
	平均残高	利 息	利 回 り	平均残高	利 息	利 回 り
資 金 運 用 勘 定	(25,603) 909,522	(46) 8,832	1.93	(39,112) 921,564	(45) 8,326	1.80
うち貸 出 金	630,237	7,300	2.31	625,550	6,813	2.17
うち商 品 有 価 証 券	810	3	0.87	844	2	0.65
うち有 価 証 券	217,334	1,449	1.33	234,440	1,451	1.23
うちコールローン及び買入手形	2,869	2	0.18	65	0	0.13
うち買 現 先 勘 定	—	—	—	—	—	—
うち債券貸借取引支払保証金	—	—	—	—	—	—
うち預 け 金	32,392	27	0.16	21,551	11	0.10
資 金 調 達 勘 定	878,296	1,250	0.28	882,961	829	0.18
うち預 金	866,757	1,143	0.26	869,470	725	0.16
うち譲 渡 性 預 金	3,381	5	0.33	400	0	0.14
うちコールマネー及び売渡手形	—	—	—	—	—	—
うち売 現 先 勘 定	—	—	—	—	—	—
うち債券貸借取引受入担保金	—	—	—	—	—	—
うちコマース・ペーパー	—	—	—	—	—	—
うち借 用 金	4,961	30	1.23	9,847	32	0.64

- (注) 1. 「国内業務部門」とは、当行及び国内子会社の円建取引であります。ただし、円建対非居住者取引は、国内業務部門から除いております。  
 2. 平均残高は、原則として日々の残高の平均に基づいて算出してありますが、当行以外の子会社については、主として月末ごとの残高に基づく平均残高を利用しております。  
 3. ( ) 内は国内業務部門と国際業務部門の間の資金貸借の平均残高及び利息（内書き）であります。  
 4. 資金運用勘定は無利息預け金の平均残高を、資金調達勘定は金銭の信託運用見合額の平均残高及び利息をそれぞれ控除して表示しております。  
 5. 連結会社間の取引に係る債権・債務及び収益・費用につきましては、相殺消去のうえ記載しております。

■ 国際業務部門

	平成22年度中間期			平成23年度中間期		
	平均残高	利 息	利 回 り	平均残高	利 息	利 回 り
資 金 運 用 勘 定	27,528	253	1.83	40,879	365	1.78
うち貸 出 金	4,870	33	1.38	5,288	35	1.34
うち商 品 有 価 証 券	—	—	—	—	—	—
うち有 価 証 券	21,826	215	1.96	34,585	323	1.86
うちコールローン及び買入手形	—	—	—	—	—	—
うち買 現 先 勘 定	—	—	—	—	—	—
うち債券貸借取引支払保証金	—	—	—	—	—	—
うち預 け 金	—	—	—	—	—	—
資 金 調 達 勘 定	(25,603) 27,502	(46) 47	0.34	(39,112) 40,858	(45) 45	0.22
うち預 金	1,896	1	0.17	1,744	0	0.08
うち譲 渡 性 預 金	—	—	—	—	—	—
うちコールマネー及び売渡手形	—	—	—	—	—	—
うち売 現 先 勘 定	—	—	—	—	—	—
うち債券貸借取引受入担保金	—	—	—	—	—	—
うちコマース・ペーパー	—	—	—	—	—	—
うち借 用 金	—	—	—	—	—	—

- (注) 1. 「国際業務部門」とは、当行及び国内子会社の外貨建取引であります。ただし、円建対非居住者取引は、国際業務部門に含めております。  
 2. 国際業務部門の外貨建取引の平均残高は、月次カレント方式（前月末TT仲値を当該月のノンエクステンション取引に適用する方法）により算出してあります。  
 3. ( ) 内は国内業務部門と国際業務部門の間の資金貸借の平均残高及び利息（内書き）であります。  
 4. 資金運用勘定は無利息預け金の平均残高を、控除して表示しております。  
 5. 連結会社間の取引に係る債権・債務及び収益・費用につきましては、相殺消去のうえ記載しております。

■ 合 計

	平成22年度中間期			平成23年度中間期		
	平均残高	利 息	利 回 り	平均残高	利 息	利 回 り
資 金 運 用 勘 定	911,447	9,039	1.97	923,331	8,646	1.86
うち貸 出 金	635,107	7,333	2.30	630,838	6,849	2.16
うち商 品 有 価 証 券	810	3	0.87	844	2	0.65
うち有 価 証 券	239,161	1,664	1.38	269,026	1,774	1.31
うちコールローン及び買入手形	2,869	2	0.18	65	0	0.13
うち買 現 先 勘 定	—	—	—	—	—	—
うち債券貸借取引支払保証金	—	—	—	—	—	—
うち預 け 金	32,392	27	0.16	21,551	11	0.10
資 金 調 達 勘 定	880,195	1,252	0.28	884,707	829	0.18
うち預 金	868,654	1,145	0.26	871,214	726	0.16
うち譲 渡 性 預 金	3,381	5	0.33	400	0	0.14
うちコールマネー及び売渡手形	—	—	—	—	—	—
うち売 現 先 勘 定	—	—	—	—	—	—
うち債券貸借取引受入担保金	—	—	—	—	—	—
うちコマース・ペーパー	—	—	—	—	—	—
うち借 用 金	4,961	30	1.23	9,847	32	0.64

- (注) 1. 国内業務部門と国際業務部門の間の資金貸借の平均残高及び利息は相殺して記載しております。  
 2. 資金運用勘定は無利息預け金の平均残高を、資金調達勘定は金銭の信託運用見合額の平均残高及び利息をそれぞれ控除して表示しております。  
 3. 連結会社間の取引に係る債権・債務及び収益・費用につきましては、相殺消去のうえ記載しております。